

平成23年度事業シート(概要説明書)《※平成22年度実施事業》

事業の概要	事務事業名	多文化共生事業						担当部	市民産業部		
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	生活交流課		
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降			担当係	交流係	
	総合計画 分野別計画	主目的	1 市民生活		2 交流		2 外国籍市民との交流がしやすい環境を整備する				
		副目的									
	予算区分	款	2	項	7	目	2	大	5	中	1
	根拠法令・個別計画	小牧市多文化共生推進プラン～「できることからはじめよう」編～									
	実施・運営 方法	<input type="radio"/> 市が直接実施・運営				地域住民組織		<input type="radio"/> 一部又は全部委託			
				指定管理・外郭団体		名称:					
				NPO・その他		名称:					
目的 (対象をどの様な状態にするのか)	外国籍市民と日本人市民が共生し、外国人と日本人の相互理解を深める。										
内容 (手段)	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人用の生活情報誌、ガイドブックの発行などを通じての情報発信 ・市内の関係部課間の情報共有を図る「多文化共生推進委員会・多文化共生実務部会」 ・企業や各種関係団体との協議の場として「多文化共生協議会」を実施 ・多文化共生プランの策定(委託) ・外国人集住都市会議のリーダー都市として、H21・22の2年間の研究課題を発表した。 ・外国人生活情報誌を、より見易くなるようレイアウトの変更や、配布方法の変更など、より外国人の身近になるように改善を行った。 <p>※予算について H22⇒外国語版情報誌が事業に入る。 H23⇒外国人相談事業が事業に入る。</p>										
受益者負担		内容									

		単位	H21決算額	H22決算額	H23予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	3,501	13,640	18,082	
		正職員	従事者数	人	0.93	1.21	1.18
			人件費	千円	4,989	6,491	6,330
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	3.00
			人件費	千円	0	0	6,567
		費用合計		千円	8,490	20,131	30,979
	対前年比		%		237.1		
財源	一般財源	千円	8,490	20,131	30,979		
	国・県支出金	千円	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0		

業	活動指標	活動指標名	単位		H21	H22	H23
		績	成果指標	成果指標名	単位		H21
多文化共生協議会	回			目標	5	5	4
				実績	4	6	
多文化共生推進委員会	回			目標	5	3	2
				実績	2	5	
多文化共生推進委員会実務担当者会議	回			目標	—	5	5
		実績	2	9			
国際交流事業などへの年間参加者数	人	目標	—	1,900	1,900		
		実績	2,394	1,933			
		目標					
		実績					

事業の自己評価（一次評価）	事業目的の達成状況	外国人市民と日本人市民が共生し、外国人と日本人の相互理解を深めるため、H22年度は、主に多文化共生推進プランの策定についてを議題とし、各種会議・調査を行い、3月にプランの策定した。				
	事業を廃止・休止したときの影響	休・廃止をすれば、外国人市民と日本人市民の相互の文化の理解と交流の機会を減少させることに繋がり、共生が進まなくなる。 外国人情報誌の発行や通訳業務など外国人の身近で必要不可欠な業務が行えなくなる。				
	判定	B	市が実施(改善が必要)			
	判定理由	外国人と日本人の共生を行うためには、情報発信が一つの重要な要素であると考えられる。しかしながら、現在の外国語版生活情報誌やホームページによる情報発信では、外国人に情報が伝わりにくいと考えられるため、研究・改善が必要と判断した。				
	今後の事業の方向性（今後の取組み・改善計画等）	多文化共生推進プランに基づき、様々な施策を実施する。 とくに、情報の発信について、多文化共生協議会は、外国人委員も参加しているため、情報発信の手法を協議会の中で検討し、より多くの外国人に情報を発信していく。				

二次評価	判定	B	市が実施(改善が必要)		
	判定理由	一次評価のとおり			